

CURRICULUM

カリキュラム

基礎から専門へと段階的に学ぶ体系的なカリキュラム。2年次からは「パフォーマンス向上群」と「ウェルネス・マネジメント群」から、自身の希望に科学的根拠に基づき社会の発展に寄与できるスポーツのプロフェッショナルを育成します。

合わせて専門性を追求。順天堂大学との連携による高度な理論と、実習や演習を繰り返し、学びを着実に身につけます。競技と学問を両立しながら、

	1年次	2年次
	スポーツ健康科学の扉を開く	スポーツ健康科学の専門性を探索する
	スポーツを多角的に捉える「科学の眼」を養い、 学びの基礎を築く	客観的分析手法を習得し、 その知見をビジネス戦略に結びつける
学びの ポイント	スポーツ健康科学ではどんな分野の学問を学ぶのか、基礎的な理論を幅広く学びます。「どのようにして記録が伸びるのか」という問いに対し、科学という視点で向き合う楽しさを知る1年です。また、レポートの書き方や情報の調べ方といった、大学生活の土台をしっかりと整えます。	動作解析など、専門的な学びが本格化します。最新機器でのデータ分析力に加え、その価値を社会やマネジメントにどう繋げるかという戦略的思考を磨きます。競技現場からビジネスの最前線まで、理論と実感を伴いながら専門性を深める、濃密な時間が始まります。
	■一般教養科目 • 現代メディア論 • 統計学基礎 • 数学基礎 • 英語 I	■一般教養科目 • 英語 II • フランス語 • 中国語
	■データリテラシー科目 • MOS スキル演習 (Word) • データサイエンス入門 • MOS スキル演習 (Excel) • 情報処理演習	■データリテラシー科目 • MOS スキル演習 (PowerPoint)
共通 基盤科目	■キャリア科目 • キャリアデザイン I	■キャリア科目 • キャリアデザイン II
	■専門性導入科目 • スポーツ健康科学総論 I・II • スポーツ栄養学 • スポーツマネジメント総論 • スポーツ文化論 • 発育・発達・加齢論 • 機能解剖学 • スポーツ社会学	■運動実技科目 • 球技 (ベースボール型) • 球技 (ゴール型) A (サッカー) • 球技 (ゴール型) B (バスケットボール・ハンドボール) • 球技 (ネット型) A (バレーボール・卓球) • 球技 (ネット型) B (テニス・バドミントン) • 野外活動 • eスポーツ
	■運動実技科目 • 体づくり運動 • 器械運動 • 陸上競技 • 武道 (柔道／剣道) • 水泳 • ダンス • スキー	■【A】パフォーマンス向上群 • 運動生理学 • スポーツ心理学 • トレーニング科学 • コンディショニング論 • スポーツコンディショニング実習 • スポーツバイオメカニクス • スポーツコーチング論 • スポーツ外傷・障害論 • スポーツ救急・救命実習 • パフォーマンス測定評価学
専門性 探索科目		■【B】ウェルネス・マネジメント群 • 生涯スポーツ論 • スポーツビジネス演習 • パラスポーツ論 • スポーツメディア論 • 衛生・公衆衛生学総論 • スポーツと法 • スポーツマーケティング論 • 地域づくり論 • eスポーツ概論

	3年次	4年次
	スポーツ健康科学を深化させる	知を統合し、社会へ踏み出す
	専門的な課題に対し、 科学的根拠に基づいた具体的な解決策を立案する	4年間の学びを集大成し、 スポーツの価値を社会に還元する力を証明する
学びの ポイント	3年次は、2年次までに学んだスポーツ健康科学の知識を、実際の競技現場や地域社会で活かす「応用」のステージです。「現場にどのような課題があるか」を自ら発見し、専門知識を用いて解決策を提案・実践するPBL（課題解決型学習）に取り組みます。	いよいよ集大成の1年。4年間の学修の集大成となるプロジェクトに取り組みます。実験・調査・分析を通じて考察を深め、指導教員やチームメンバーとの対話を通じて導き出した最終成果は、スポーツ業界はもちろん、どんな分野でも自信を持って活躍するための確かな基盤となります。
	■ゼミナール科目 • ゼミナール I	■ゼミナール科目 • ゼミナール II
	■【A】パフォーマンス向上群 • スポーツバイオメカニクス演習 • スポーツ栄養学演習 • スポーツコーチング演習 • スポーツ心理学演習 • スポーツ医学	
専門性 深化科目	■【B】ウェルネス・マネジメント群 • レクリエーション実習 • バラスポーツ演習 • 地域福祉論 • メンタルヘルス概論 • スポーツイベントマネジメント演習 • 地域スポーツ指導論 • スポーツ施設マネジメント • スポーツボランティア論 • スポーツ組織マネジメント • スポーツファイナンス	